

食品と容器

FOOD & PACKAGING

1

2022
Vol.63

新年のご挨拶

加藤寛之 2

第1特集 新春誌上座談会

『コロナ禍における食にかかわる新たな展開』

4

「コロナ禍における食の新たな展開」

折笠俊輔 6

「コロナ禍での外食産業の動向」

堀田宗徳 12

「新型コロナウイルスと食品栄養」

山内 淳 19

「コロナ禍と災害に対応する食の最新事情」

別府 茂 / 雨宮純子 24

「コロナ禍で災害現場における高齢者への食支援」

高橋恵子 31

速報 ; Can of the Year 2021 受賞製品

37

第2特集 海外事情

オランダの食事情

後藤一寿 38

マレーシアの魅力

林 伸江 45

～世界遺産の街マラッカ、生態系豊かなボルネオ島～

アメリカで暮らすように旅をして

大枝麻由 53

ベトナムを訪れたら試すべき

レ・チ・ミン・ツイ 60

メコンデルタの最高の料理と食材

最近の技術雑誌から

65

古今東西全部入り^{③〇}

コーヒー豆（浅煎り） 69

今年もカラー印刷を楽しむ

第1特集

新春誌上座談会

『コロナ禍における食にかかわる新たな展開』

「コロナ禍における食の新たな展開」

.....折 笠 俊 輔

「コロナ禍での外食産業の動向」

.....堀 田 宗 徳

「新型コロナウイルスと食品栄養」

.....山 内 淳

「コロナ禍と災害に対応する食の最新事情」

.....別府 茂 / 雨宮純子

「コロナ禍で災害現場における高齢者への食支援」

.....高 橋 恵 子

第2特集

◆ 海 ◆ 外 ◆ 事 ◆ 情 ◆

オランダの食事情.....後 藤 一 寿

マレーシアの魅力

～世界遺産の街マラッカ，生態系豊かなボルネオ島～

.....林 伸 江

アメリカで暮らすように旅をして.....大 枝 麻 由

ベトナムを訪れたら試すべきメコンデルタの最高の料理と食材

.....レ・チ・ミン・ツイ

■ 『コロナ禍における食にかかわる新たな展開』 ■

「コロナ禍」は、2019年末頃から始まり2020年には瞬く間に世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症による状況を表す言葉としてメディアで使われ、人々の生活や経済活動を一変させています。この新型コロナウイルス感染症対策は、初めて経験することが多いため、特に日本では発症者の受け入れや治療方法、予防対策等が実践されながら確立されている状況です。

今後とも感染症予防対策は続くと思いますが、本年度の正月号では新型コロナにより、どの様に私たちの食生活に与えた影響と今後の展望について各分野で活躍されている方々に解説をお願いします。

最初に、(公財)流通経済研究所の折笠俊輔氏には「コロナ禍における食の新たな展開」と題して、私たちが災害時に対応すべき、常識の枠を超えた発想の必要性について解説戴きます。次に、宮城大学の堀田宗徳氏には「コロナ禍での外食産業の動向」と題して、マーケット分析と新しい生活様式の中での新しい食形態とはどういうものかを解説戴きます。そして、東京農業大学の山内淳氏には「新型コロナウイルスと食品栄養」と題して、革新的な免疫増強機能性食品等の紹介と、栄養のある食品の摂取の重要性を解説戴きます。更に、新潟大学の別府茂氏と(国研)農研機構の雨宮純子氏には「コロナ禍と災害に対応する食の最新事情」と題して、この災害多発時代を生き抜くために食の分野で求められる新しい対応等を解説戴きます。最後に、(公財)日本認知症グループホーム協会の高橋恵子氏には「コロナ禍で災害現場における高齢者の食支援」と題して、日頃より高齢者の支援に努められ、災害時の対応等の貴重な経験に基づくコロナ禍の中での食支援の重要性等を解説戴きます。

「コロナ禍における食の新たな展開」



公益財団法人 流通経済研究所 主席研究員、農業・環境・地域部門 部門長
日本農業経営大学校非常勤講師
折笠 俊輔 (おりかさ しゅんすけ)

早稲田大学 商学部卒業、筑波大学大学院 ビジネス科学研究科修士課程修了。
精密機器メーカー(営業職)を経て現職。
農林水産物の流通・マーケティング、6次産業化の販路開拓、地域ブランド構築、
物流の効率化、買物困難者対策といった領域を中心に、理論と現場の両方の視点から
研究活動・コンサルティングに従事。

「コロナ禍での外食産業の動向」



宮城大学 食産業学部 フードビジネス学科 准教授、同大学院食産業研究科
尚絅学院大学 非常勤講師、仙台白百合女子大学 非常勤講師
堀田 宗徳 (ほった むねのり)

大学卒業後、広告代理店勤務、農林水産省所管 財団法人外食産業総合調査研究センター(外食総研)(現(公財)食の安全・安心財団 附属機関 外食産業総合調査研究センター)、同センター主任研究員、関東学院大学 非常勤講師を経て現職。
研究領域は、外食・中食市場規模の推計、外食・中食産業の動向分析、外食・中食企業の経営マネジメントなど。

「新型コロナウイルスと食品栄養」



東京農業大学
大学院国際食料農業科学研究科 国際食農科学専攻 主任
国際食料情報学部 国際食農科学科 教授
山内 淳 (やまうち じゅん)

東京農業大学大学院 農学研究科修了。国立健康・栄養研究所を経て、現職。
博士（農芸化学）。

「コロナ禍と災害に対応する食の最新事情」



新潟大学大学院 自然科学研究科 客員教授
一般社団法人日本災害食学会 理事・副会長
特定非営利活動法人日本防災士会 副理事長
別府 茂 (べっふ しげる)

新潟大学 農学部卒業，ホリカフーズ(株)を経て現職。
博士（歯学）



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
本部 事業開発部 ビジネスコーディネーター
一般社団法人日本災害食学会 理事
雨宮 純子 (あめみや じゅんこ)

北里大学 衛生学部（現理学部）卒業，一般財団法人日本食品分析センター入所後，
農研機構とのクロスアポイントメントを経て，現職。

「コロナ禍で災害現場における高齢者への食支援」



看護師・ケアマネージャー
熊本県認知症介護指導者 小規模ケアアドバイザー 認知症ケア専門士（上級）
熊本県地域密着型サービス連絡会 副会長・事務局
（公財）日本認知症グループホーム協会 熊本県支部長
日本認知症ケア学会 評議員
日本ホスピス・在宅ケア研究会 災害ネットワーク委員 自然観察指導員
高橋 恵子 (たかはし けいこ)